

東海ブロックだより

名古屋大学数理・データ科学・人工知能教育研究センター長

井手 一郎

■ 沿革

2019年度に発足した本コンソーシアムの第一期の間、東海地域(岐阜・静岡・愛知)の大学等は、中部・東海ブロックとして、拠点校であった滋賀大学の下で活動していました。その後、2022年度の第二期発足にあたり、東海ブロックとして始動し、名古屋大学が拠点校及びブロック代表校を担当することになりました。第二期発足当時、14大学(短期大学を含む)だった会員校は、その後、多数の私立大学と高等専門学校の参画を得て、2025年8月現在、特定分野校の静岡大学(理工農、ダイバーシティ推進)を含めて、30大学(短期大学を含む)、3高等専門学校となりました。

第二期の発足とともに東海地域は独立したブロックとして自立することになったため、ブロック代表校の名古屋大学を中心に、一から手探りで立ち上げることになりました。名古屋大学では、2020年度に設立された数理・データ科学教育研究センター(現、数理・データ科学・人工知能教育研究センター)が中心となって、域内の全ての大学等(大学(短期大学を含む)113校及び高等専門学校3校)に様々なチャンネルを通じて連絡をとり、オンラインで6校、対面で36校を実際に訪問し、データ科学教育の重要性及び本コンソーシアムの活動について紹介し、啓蒙活動に努めてきました。また、MDASH認定を希望する大学等には、少しでも申請のハードルを下げるべく、FAQ集やブロック内の既認定校の申請書及びプログラム紹介ポスターを公開しています。

また、ブロック会議では、文部科学省の担当者をお招きして相談コーナーを開設しているほか、随時、個別の相談に対応し、申請を支援してきました。個別訪問は相応のコストがかかりますが、MDASH認定に過度に困難な印象をもっている大学が意外に多く、訪問で前向きになっていただく効果はありました。また、あらゆるチャンネルを使って連絡をとる努力をしても、なかなかキーパーソンに届かないもどかしさがあり、話が通じる方とつながった時の達成感はとても大きいです。

このような努力の結果、リテラシーレベルの認定校は、当初の4校から2025年度時点で62校(うち、プラス認定1校)に増え、ブロック内の約55%の大学等で認定済みです。一方、応用基礎レベルの認定校は、全学単位で9校(うち、プラス認定1校)、学部単位で12校と、ブロック内の約19%の大学等にとどまっており、引き続き啓蒙及び支援に努めたいと思っています。

■ 東海デジタル人材育成プラットフォーム

東海地域はものづくりに強いことで知られており、域内では、従来、産業界と連携したデータ科学教育を実施している大学等もありました。そこで、大学等を中心とした本コンソーシアムの活動に産業界も巻き込んだ「東海デジタル人材育成プラットフォーム」を立ち上げ、連携して活動しています。2025年8月現在、大学(短期大学を含む)27校、高等学校1校、企業5社に加わっていただき、会員校が提供するリカレント教育プログラムをカタログ化して公開しているほか、本コンソーシアムと連携したセミナーやフォーラムの開催に加えて、会員限定で年に2回程度、教育カリキュラムや教育モジュールについて密に検討する場を各々提供しています。本プラットフォームの詳細については、以下のウェブページをご覧ください：
<https://www.tdtc-pf.org/>

■ 活動状況

当ブロックでは、上記プラットフォームと連携して、これまで以下のイベントを開催してきました。

ブロック会議

文科省・コンソーシアム事務局の講演、ブロックの活動報告、MDASH認定校の講演・ポスター展示、文科省相談コーナー

- ・第1回：2023年10月19日、名古屋大学
- ・第2回：2024年11月25日、名古屋大学

東海デジタル人材育成プラットフォーム総会

プラットフォームの活動報告・計画、招待講演

- ・第1回：2022年9月13日、オンライン
- ・第2回：2023年10月19日、名古屋大学
- ・第3回：2025年3月31日、オンライン

東海デジタル人材育成プラットフォームセミナー

当初は、域内の大学等の教職員を対象として、MDASH認定の事例紹介やハウツー的なテーマで開催していましたが、最近は産業界や中等教育機関の関係者を対象に加えて、MDA教育における産学連携や高大接続を意識したテーマ設定を行っています。

- ・第1回：2022年9月6日、名古屋大学
「リテラシーレベル教育の普及をめざして」
- ・第2回：2022年11月30日、JRゲートタワー
「産学連携・リカレント教育を考える」
- ・第3回：2023年6月1日、ウインクあいち
「これを聞けばMDASHリテラシーレベル認定がとれる！」
- ・第4回：2024年7月8日、オンライン
「MDASH応用基礎レベル認定をとりにいきましょう！」
- ・第5回：2024年10月17日、オンライン
「【農業×DS・AI】産業デジタル化取組紹介とデジタル人材育成の展望」
- ・第6回：2025年7月9日、オンライン
「高大接続 — SSHアルムナイ・探求型高校生のフォローアップは？ —」

東海デジタル人材フォーラム

本フォーラムは、エキスパートレベルを見据えた大学院及びリカレント教育を対象として、本ブロックの発足以前から名古屋大学主催で開催してきましたが、2022

年度よりプラットフォーム主催のイベントとして、地域の産学連携及び産業DX人材育成に関するテーマで開催しています。

- ・第1回：2020年9月7日、オンライン
「東海国立大学機構の挑戦」
- ・第2回：2021年11月18日、オンライン
「地域DX人材の育成に向けて」
- ・第3回：2022年3月31日、オンライン
「産学ですすめるデジタルの人づくり」
- ・第4回：2023年3月10日、名古屋商科大学
「東海地域のデジタル人材育成を加速する取り組み」
- ・第5回：2024年3月12日、JRゲートタワー
「デジタル人材育成に向けた産学の密な連携」
- ・第6回：2025年2月28日、JRゲートタワー
「地域産業のデータ駆動・DX化とMDAセンター5周年」

これら以外にも、2023年度には2023年8月23日（オンライン）に生成AIセミナー「生成AIの産業応用に向けて」、2024年度には2024年9月11日（オンライン）に「次につながる価値ある結果を出すためのデータサイエンス」など、時宜にかなった単発の講演会も開催しています。

■ おわりに

以上、東海ブロックの沿革及び活動について簡単にご紹介しました。勿論、これら以外にも特定分野校や各連携校もそれぞれ独自に様々な活動をしています。紙面の都合上割愛します。本ブロックの詳細については、以下のウェブページをご覧ください：

<https://www.mds.nagoya-u.ac.jp/block-tokai/>



ブロック会議における講演の様子



ブロック会議におけるポスターディスカッションの様子



東海デジタル人材フォーラムにおけるパネルディスカッションの様子